

〜グッドイヤーF2G コルセア戦闘機



(F4U-4 コルセアと一)

米国海軍では同じ仕様で作った機体でも、委託生産したメーカーの製造機には別名を付けていました(ジェネラルモーターズ社が製造したグラマン

F4F ワイルドキャットを FM と呼ぶなど)。

チャンスポート F4U コルセアは、並行してグッドイヤー社により生産され、FG と呼ばれました。グッドイヤー社は F4U により大馬力(3500hp!)のワस्पメジャーエンジンを搭載する改良型を提案し、F2G として世に出ました。エンジンナセルが長くなっただけでなく、キャノピーが水滴風防になって、ずいぶん印象が異なります。また、今回制作してわかりましたが、主翼付根のインテイク形状も異なっていて、実機の再設計も実に大がかりなものだったことがわかります。ただ、戦争も終盤だったからでしょう、試作機も含めて 19 機が生産されただけで、実戦には投入されませんでした。大馬力エンジンの反動トルクも大きかったと想像でき、艦上機としては使いづらい機体になっただろうと思われます。戦後は、民間に払い下げられ、その大馬力でエアレーサーとして活躍します。



【模型について】

スペシャルホビー(Special Hobby)の 1/72 のキットです。基本よくできたキットで、そのまま組んでも良かったのですが、タミヤの傑作 F4U のキットを手軽に使えるという日本に住む利点wを活かして、主脚や尾輪などは流用しています。(中川裕幸 2024 年 11 月)